



利用者忘年会での演芸奉仕

寿光園の屋根の下

第128号
平成27年3月
発行元
高清水寿光園

これから秋田で、どう生活したい？

在宅係長 柴田 融

「寺内地域包括支援センター寿光園」という部署を担当しています。

寿光園という特別養護老人ホームという施設のイメージがあるかもしれませんが、地域包括支援センターは市からの委託を受け、ご自宅で生活される高齢者の方々のご相談を何でも承るところになっていきます。

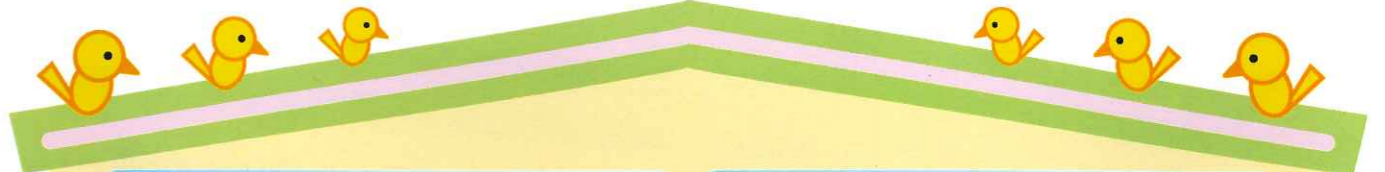
さて、平成27年度は三年に一度の介護保険制度の改正の年に当たります。「地域ケア会議」「地域支援事業」「地域包括ケアシステム」など聞き慣れない言葉も多く登場しますが、住み慣れた地域でなるべく元気に、もし認知症になっても安心して住み続けられるような仕組みを医療も含めて、ここからの三年をかけて作っていきましょうというスタートの年になります。主役は地域の皆さんです。少子高齢化が進み団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けて急激に高齢化が進むのは首都圏で、その時に首都圏が迎える高齢化率に秋田は既に到達しています。地域によって課題はまちまちなので、地域にあわせたものを地域で考えましょうという方法になってきています。

では秋田は…、高齢化率の上昇は穏やかですが、人口は減少するようです。高齢者だけの世帯やお一人暮らしの世帯も増加していきます。空き

家問題も増えてきてます。さて、高齢者の増加や空き家は、そのまま課題なのでしょうか？

高齢者とは65歳以上の方々をさしますが、非常にお元気な方々も多くあります。また持ち家率や一戸建住宅、土地の所有率は全国トップクラスで優良物件が多く空いているとも言えます。例えば、町内で空き家を借りて歩いてすぐに行ける距離の集会所として活用する。広めの一戸建住宅を数人の高齢者で借りて生活（若者風に言えばシェアハウス）すれば気楽に安心して生活できる、そこに近所の元気な高齢者がお手伝いに行くと、活動の場と（少しでも）収入を得る。なんていうのはどうでしょうか。まだまだお元気な方々が、少しづつ援助を必要とする方を担い、空き家問題を解消しながら、一人暮らしの不安を解消する。小さいですが、それぞれメリットありそうじゃないですか？

いろんなアイデアを地域でどんどん話し合い（地域ケア会議）、政策提言して少しでも収入になって（地域支援事業）、住み慣れた地域で安心して生活していただける秋田（地域包括ケアシステム）を地域の皆さんが主体的に関わって作っていくチャンスが来たのかも知れません。アイデアをお聞かせ下さい（*）



寺内地域包括

『地域包括支援センター』は、地域にお住まいの高齢者の皆様が安心して生活を続けていけるよう、『何でも』ご相談をお受けしている総合相談窓口です。ご本人からでも、ご近所の方のことで、離れて暮らすご両親のことでかまいません。「こんな事を聞いても大丈夫かしら？」なんて遠慮もいりません。担当の包括は市町村の窓口からも問い合わせ出来ます。個人の秘密は守られますのでお気軽にご相談下さい。



直通 ☎ 018-853-6300

寿光園 居宅

事業所には現在4名の介護支援専門員が地域で暮らしている皆様の悩みや相談事に応じ、その人がその人らしく生活できる様に支援させて頂いております。生活環境・介護環境は一人ひとり異なりますが、そのような皆様一人ひとりに適したサービスプランを提供するよう心がけています。私達は、地域の皆様の個々の生活に関わらせてもらう中で、人生の勉強をさせて頂いていると感じております。そのような経験を積み重ねてもらった介護支援専門員が対応させて頂きますので、一人で悩まず不安を抱かず、一緒に考えましょう。お気軽にお電話ください。

直通 ☎ 018-893-5761

ヘルパーステーション

『住み慣れたご自宅での、日々の暮らしのお手伝いをいたします。』

居室の清掃・調理・洗濯・買い物などの日常生活上の必要なサービスや、入浴介助・外出介助をベテランヘルパーがこなしております。

丁寧な介護、サービスで安心感を持っていただけるように、また、ヘルパーの訪問を楽しみにして下さるよう、これからも信頼されるヘルパーステーションを目指して参ります。



ショートステイ

ご本人様の心身の状況や、ご家族様の精神的・身体的な介護負担の軽減を図る為、短期間施設入所し、日常生活上の支援や機能訓練等を行っております。『急に身体を動かす事ができず、自宅で過ごす事が難しくなった』『在宅介護をしているが、時々休む時間がほしい』『冠婚葬祭等で一時的に自宅で介護をする事が難しい』等、ご利用者様、ご家族様のご要望に応じ、一時的にショートステイを利用される事で、在宅生活を継続する為のお手伝いができればと思います。



編集後記

昨年末には雪が降り始め、平年より長い冬が予想されましたが、1月に入っても沿岸地域は積雪が少なく除雪に喘ぐこと数年と異なり、過ぎ易い冬だったように思います。介護保険の改正により介護報酬が引き下げられることになりました。社会保障の拡大と抑制という相反する問題をクリアするためとありますが、根本的な改革をしないと解決には至らないような気がしています。ともあれ暖冬とは逆のお寒い春を迎えることになるわけですが、そのような中でも笑顔を忘れず、頑張っていきたいと思っております。（広報編集委員一同）

職員募集

・介護員
・看護員
を募集しております。
詳しくは018-880-1050 (石田) までご連絡ください。



特 養

2東

私達の2東フロアは太陽の光がキラキラ差し込むところで、元気いっぱいの利用者が集まっています。リハレクでの足浴、テーブルボーリング、クラブ活動、楽しい行事への参加で集まると、いろいろな話題があり楽しそうな雰囲気です。その中に百歳を迎えられた串田つね様がいらっしゃいます。食事は良く噛んで美味しく召し上がっていらっしゃいます。お話しも大好きです。力強いパワーを持った利用者様で元気があふれていらっしゃいます。



平成26年度 各フロアの取り組み

2北

私たち2北は男性5名、女性23名の65歳から96歳までが過ごされる、明るくにぎやかなフロアです。居室からは季節を彩る花々を、談話室や食堂からは日本海を行き交う大型船やセリオタワーが見えるなど寿光園一の眺望が自慢です。毎日の生活の中で自分ができることを無理せずご自分のペースで、ラジオ体操やエプロンたたみ、季節の貼り絵を楽しみながら行っています。



介護 取組

1東

1東フロアは、様々な場面において介護を要する方々が同じ屋根の下で生活されています。101歳の最年長の方を初めとして、今年度の敬老会では4名の方々が傘寿や米寿のお祝いを受けるなど明るく元気に過ごされています。1東でのご縁を大切にしたいと思い、昼食は出来るだけ食堂で触れ合いながら、楽しく美味しい食事を頂けるように努めております。又、ご利用者様1人1人の笑顔を引き出せるよう、コミュニケーションを大切に、「ありがとう」の言葉を頂ける様に今後も支援して参ります。



当施設のご利用者様の平均年齢は男性76歳、女性87歳で、最高齢者方もおり、お元気にお過ごしいたす。私達の目標としている「食事は美味しく食べたい」という願いが叶えられております。

全国的に高齢化が進む中、入所待機者の方のきなみ90歳を超えていらっしゃる方が多くおられます。亡くなられた方のうち、方もおられます。近づくときは、に状態説明を行い、ご職員が悔いの残らない十分な話し合いを行ってまいります。ご利用者様が終末期に医師がご家族様に十分ご利用者様・ご家族様・ご職員が悔いの残らない十分な話し合いを行ってまいります。ご利用者様が終末期に医師がご家族様に十分ご利用者様・ご家族様・ご職員が悔いの残らない十分な話し合いを行ってまいります。ご利用者様が終末期に医師がご家族様に十分ご利用者様・ご家族様・ご職員が悔いの残らない十分な話し合いを行ってまいります。

1北

入所されている方は経管栄養者の方が多く、ショートの方も利用されるフロアです。経管栄養者の方にもおいしく召し上がって頂けるように、アイスや棒付き飴を食べて頂く機会を大事にしております。お一人お一人の状況に応じて、その方の生活を尊重した関わりを心がけております。

ショートの方には、ご自宅の生活と変わらない生活スタイルや生活習慣に沿った生活支援を大事にしております。「又利用したい」と思って頂けますよう、職員一同、心に寄り添ったサービスを続けて参ります。



祝 渡邊多喜様
100歳 おめでとうございます

